

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」 所沢校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		お子さまが適切なスペースを確保できるように整頓を行った。	今後も整理整頓を継続し、お子様や活動内容に合わせて柔軟に環境整備を行って行く。
	②	職員の配置数は適切である	2	2	各自の体調管理と相互のヘルプ体制を整えている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	面談スペースは高さ約180cmのパーティションで囲みプライバシーに配慮している。	現時点では問題はないが、出入口口前の階段やトイレの設備に改善の余地がある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1	就業前に清掃・消毒し、適宜換気を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		個人情報管理に細心の注意を払いながら、PC上にて各自でスケジュールや情報等を共有・管理できるようにしている。	各自で時間管理をし、話し合う時間を確保している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		連絡ノートを作成し、いただいた意見を職員間で周知している。	回答率の向上と、より正確な情報を得るため関係性の構築を図る必要がある。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	市の子供部会主催の研修会等に参加している。	他職種や事業所が集まる機会を利用して積極的に情報交換・情報収集することを意識する。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		お子様の反応と保護者様からの意見を考慮し分析している。	常に客観的な視線で分析できるよう心掛ける。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	事業所共通のツールを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		ガイドラインに沿って、適切な支援を選択している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		支援計画を確認しながら、適切に支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		スタッフ間で支援計画の案を出し合い、立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		お子様に合わせた教材作成を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	2	2	イベントとして小集団の活動を行っている。	目標に沿って、「楽しかった」と思ってもらえる支援を実行していく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		注意が必要なお子様に対しては事前に確認を行っている。	打ち合わせの必要性を認識し、毎回全員行うようにする。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		支援後は情報伝達や振り返りを行っている。	情報共有の必要性を認識し、優先的に行うようにする。

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		毎回、支援記録を書き情報を共有し検証・改善に活かしている	
	⑲	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		お子様と保護者の意見を重視し、判断の基準にしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2	会議には、そのお子様に最も関わっているスタッフが参加している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		直接または電話での情報の共有を行っている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		4	現在は対象となるお子様がいないが、必要時は連携を行う。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4	現在は対象となるお子様がいないが、必要時は連携を行う。	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	3	市内の幼稚園の方針により、事業所と幼稚園との連携がとりづらい状況にある。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4		現在、行っていないので、必要に応じ行っていけるよう周知しておく。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		現在行っていないので、必要に応じ行っていけるよう周知しておく。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4	市内の幼稚園の方針により、事業所と幼稚園との連携がとりづらい状況にある。	

保護者への説明責任等	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1	子供部会主催の会議等に参加している。	他職種や事業所が集まる機会を利用して積極的に情報交換・情報収集することを意識する。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		支援後に15分間のフィードバックの時間を設けている。	フィードバックの時間が無い時は、後日情報交換を行うようにしている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	別個で時間を設けて行ってはいない。	フィードバックの時間を利用し、対応についての助言を行っている。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時や請求・領収書お渡し時、その他質問があった時に説明を行っている。	分かり易いことと誤解のないことを心掛けて説明を行っている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		契約時と中間評価時に内容説明を行っている。	分かり易いことと誤解のないことを心掛けて説明を行っている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		フィードバックの時間を利用し、必要な助言を行っている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	現在行ってない。	保護者間での交流ができるよう日時調整を行う。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		申し入れがあった時点で、スケジュールを調整し対応している。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	3	ブログにて発信している。	
③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	4		鍵付きのロッカーにて厳重に保管している。		
③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		相手にとって分かり易い伝え方や言葉の		

				選び方を心掛けている。		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	環境が整っていない為、行っていない。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	待合スペースにポスターを掲示し周知を行っている。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	毎月、防災訓練を行っている。	ポスターやチラシ、口頭などで、防災についての周知を行う。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		契約時やフィードバック時に適宜確認を行っている。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	お子様によっては、小麦粘土などを使用しない等の配慮を行っている。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	報告書やチャットワークにて、自事業所や他事業所のヒヤリハット事例を共有している。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2	常に確認できるよう、マニュアルを常備している。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	契約時に書面にて説明を行っている。	身体拘束の必要が無いよう対応を行っていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」所沢校 保護者等数（児童数）：8(9) 回収数：6 割合：75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			2		フィードバック時に説明していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6				本人の変化・状況による。	疲れ具合や時間帯、支援時の周囲の状況等を配慮し支援内容を柔軟に変えていくことで対応する。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6				毎回のプログラムの内容は異なり、興味を引く内容となっている。	お子様の反応を見ながら興味の対象に合わせたプログラムを展開している。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		1	4		

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5			1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3			3		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	1				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2		1	4		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5			1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	2		2		フィードバック時等でアナウンスしていきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5			1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	1		2		掲示物やフィードバック時等でアナウンスしていきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1		3		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6					フィードバック時に、お子様がゆっくとでも確実に成長しているという部分を丁寧に説明していく。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6					保護者の意向も取り入れるとともに、毎回

								ていねいな説明を心がけ、納得のいく支援内容を提示していく。
--	--	--	--	--	--	--	--	-------------------------------

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。